

ウゴビーの自由診療について 説明書・同意書

当院では、健康寿命の延伸と生活習慣病の改善を目指す医療的減量治療の一環として、肥満症治療薬ウゴビーを導入しております。本治療を行うことにより「食欲抑制」、「胃の運動抑制（胃の動きを緩やかにし、食べたものが胃に長く留まる）」、「高脂肪食や甘いものへの欲求の低下」から体重減少の効果が期待できます。本治療は、単なる体重減少だけでなく、将来の健康を見据えた治療です。

1. 当院でウゴビーをご使用いただける患者さま

肥満症と診断され（1）を必須項目とし、加えて（2）もしくは（3）のいずれかに該当する方です。

- （1）高血圧または脂質異常症の診断を受けている
- （2）BMI（※1）が35以上
- （3）BMIが27以上35未満であり、「肥満に関連する健康障害」（※2）のうち、2つ以上がある

（※1）BMIは「体重（kg）÷（身長（m）×身長（m）」で算出されます。

（※2）「肥満に関連する健康障害」とは、以下の10項目です。このうち③～⑩いずれかを満たすことが必須。

- ①脂質異常症（コレステロール異常）、②高血圧、③高尿酸血症・痛風、④冠動脈疾患、⑤脳梗塞、⑥非アルコール性脂肪性肝疾患、⑦月経異常・不妊、⑧閉塞性睡眠時無呼吸症候群、⑨運動器疾患（変形性関節症など）、⑩肥満関連腎臓病

2. 投与方法

週に1回、腹部、上腕、大腿のいずれかに皮下注射する自己注射薬です。通常は0.25mgから投与を開始し、4週間の間隔で徐々に増量し、最終的に2.4mgを維持量として週1回注射することが可能です。

3. 副作用

本剤による治療を受けるにあたり、下記のような副作用が出現する可能性があります。

- （1）治療開始後1ヶ月は消化器症状の副作用（悪心・嘔吐、下痢、便秘等）
- （2）重症な副作用として低血糖によるめまい、ふらつき、意識消失等の症状

※副作用の出現頻度や程度には個人差があります。症状が現れた場合には、速やかに医療機関を受診してください。

4. 利用できない方

安全な治療を提供するため、以下に該当する方は、ウゴビーによる治療をお受けいただけません。

- （1）20歳未満の方
- （2）妊娠されている方、妊娠の可能性のある方、授乳中の方
- （3）過去に薬剤や特定の化学物質に対してアレルギー反応を起こしたことのある方
- （4）他のGLP-1受容体作動薬やインスリンを使用中の方（※2型糖尿病の方は糖尿病外来（予約制）を受診ください）
- （5）1型糖尿病、甲状腺疾患、重度の胃腸障害、膵炎、重度の腎機能障害、重度の肝機能障害の方
- （6）その他、医師の判断により本治療が不適切であると判断された方、あるいは治療の必要性が低いと断された方

下記についてご同意いただいた上で、本治療を開始いたします。

- （1）本治療は自由診療での提供となり、保険診療の適用外です。ウゴビーは、医師の診察に基づいて処方される医薬品です。医師の指示に従い、正しく使用してください
- （2）治療開始にあたり、副作用や注意事項について事前に必ずご確認ください
- （3）薬剤の効果や副作用（悪心、嘔吐、下痢、膵炎など）の発現には個人差があり、治療効果を保証するものではありません
- （4）患者様の状態に応じて、治療の中止や薬剤の用量調整は、全て医師の判断にて行います
- （5）効果を最大限に得るために、一定期間の継続的な治療をお勧めいたします
- （6）薬剤の効果や安全性を継続的に確認するため、治療期間中は定期的な血液検査をおすすめします
- （7）万が一、薬剤による十分な効果が得られなかった場合でも、費用の返金は致しかねますのでご了承ください

私はウゴビーの使用について、その方法、効果、副作用などについて詳しい説明を受け、理解しました。その上で、この治療を受けることに同意いたします。

同意日： 年 月 日

患者様のご署名

※本人記載が難しい場合本人枠は代筆をお願いいたします。

ご家族又は代理人のご署名

続柄

本文書にて患者様が今回の手術を受けること、また合併症が発生した場合には、必要な医学的処置を受けることに同意された事を確認しました。

説明日：

説明医師（担当医師）

医療法人(社団)有恵会 香里ヶ丘有恵会病院

2026年4月